

## よりハイリスクな MSM 層の解明と有効な介入方法の検討

研究分担者：塩野徳史（大阪青山大学 健康科学部看護学科 講師）

研究協力者：太田貴（やろっこ）、星野慎二（NPO 法人 SHIP）、荒木順（NPO 法人 akta）、  
石田敏彦（ANGEL LIFE NAGOYA）、後藤大輔、町登志雄（MASH 大阪）、  
宮田りりい（SWASH）、新山賢（HaaT えひめ）、玉城祐貴（nankr 沖縄）

### 研究要旨

本研究では横断調査によって、よりハイリスクな MSM 層の実態を把握することを目的としている。当初の計画では初年度は機縁法により事前調査、2-3 年目に本調査の実施と介入の試行を行うこととしていたが、分析可能な対象者数の回答を得ることや、先行研究との比較を行うことを踏まえ、計画を変更して初年度には 2 地域で質問紙調査を実施することとした。調査内容について男性同性愛者を中心とする当事者団体らと検討し、先行研究で用いられた質問項目に加えインターネット利用に関する項目、新たな知識となる Treatment as Prevention や PrEP の知識についての項目を追加した。2018 年 1 月 12 日から 2 月 12 日の 1 ヶ月間、中四国地域および横浜、仙台で調査を実施した。名古屋地域で 2018 年 12 月 15 日から 1 月 15 日、3 年目には沖縄地域で 2019 年 11 月 9 日から 12 月 8 日の 1 ヶ月間、同様の調査を実施した。大阪、沖縄、東京地域ではインターネットを利用した質問紙調査を実施した。

本報告では各地域の差異を考慮しつつも、3 年間で実施した調査を総合し、ゲイ向け商業施設利用者を対象とした調査、インターネットを利用した調査について一番最近のアナルセックスの相手と出会った場所別の分析とコミュニティセンター認知別分析を行い、結果を検討した。

### A. 研究目的

先行研究では MSM における生涯受検割合は 6 割～7 割程度、過去 1 年間の受検割合は 3 割程度にとどまっている。

未受検者や定期的な受検習慣がない MSM の中には、薬物使用者や経済的困窮者、セックスワーカー、ネットワークが希薄な地方地域在住の MSM 等、感染リスクの高い層が含まれると考えられる。また予防啓発が届いていない層では HIV/AIDS に関する意識や知識、およびスティグマは従来のものであると考えられ、効果的な予防介入の浸透が阻害されている可能性もある。これらの層は従来の予防介入では届かなかった層であり、MSM の中でもより HIV 感染リスクの高い層である。今後予防介入はよりハイリスクな MSM 層に焦点化して展開していく必要があり、本研究では横断調査によって、よりハイリスクな MSM 層の実態を把握することを目的としている。また、最終的には各地域の CBO で連携してよりハイリスクな層に有効な介入方法を検討し、試行と効果評価の方法を検討することも目的としている。

### B. 研究方法

当初の計画では初年度は機縁法により事前調査、2-3 年目に本調査の実施と介入の試行を行うこととしていたが、分析可能な対象者数の回答を得ることや、先行研究との比較を行うことを踏まえ、計画を変更して初年度に 3 地域（東北、横浜、中四国）で質問紙調査を実施した。2 年目は 3 地域（名古屋、大阪、沖縄）で質問紙調査を実施した。3 年目にはさらに 2 地域（沖縄、東京）で質問紙調査を実施した。

方法は先行研究と同様に、各地域の CBO がゲイ向け商業施設利用者を対象に HIV に関する知識の提供や検査行動の促進を目的にした活動を展開していることをふまえ、これらの CBO を介して、ゲイ向け商業施設に調査協力を依頼し、質問紙調査を商業施設スタッフから利用者に配布する仕組みとした。同意の得られた商業施設にアンケートセットを配布し、従業員から利用者に直接手渡され、利用者が記入後厳封し、商業施設にある回収袋に投函する方法とした。回答者には謝礼として商業施設で使用可能なチケット（1,000 円相当）と調査依頼書をアンケートセットに同封して、無記名自記式の質問紙と一緒に配布した。2 年目は 2 地域（大阪、

沖縄)の活動状況を踏まえ、インターネットを利用した質問紙調査で実施した。名古屋地域では前年度と同様の方法で実施した。加えて3年目は東京でインターネットを利用した質問紙調査を、沖縄地域では他地域と同様の方法でゲイ向け商業施設利用者を対象とした質問紙調査を実施した。

調査項目は先行研究と同様の項目を活用し、基本属性、過去6ヶ月間の商業施設など利用経験、予防啓発活動の認知、ソーシャル・キャピタル、HIV抗体検査受検経験、検査の未受検理由、性行動および予防行動とした。また以下の項目を追加した。本研究ではよりハイリスクなMSM層の実態を把握することを目的としているため、CBOスタッフと検討し、これまで意識的に予防介入を行ってこなかった層を特定する項目として、以下のインターネット利用に関する項目を追加した。

- 過去6ヶ月間に、以下のSNSや掲示板を活用して、画像や文字を投稿しましたか？
- 前問でチェックした、SNSや掲示板、アプリに、自分の顔や身体の画像を投稿したことがありますか
- 前問で、チェックしたSNSや掲示板に、裏アカウント持っていますか？
- 前問で、チェックしたSNSや掲示板であった相手とセックスしたことがありますか？

先行研究では、商業施設利用者の中でもインターネットを利用した出会いを積極的に行う層における感染リスクの高さが報告されているが、MSMにおけるインターネット利用の方法も多様性があることについて明らかにした研究はみあたらない。検討する中で、新たに追加した項目のような経験を有する人は感染リスクの高い層であると思われるが、よりハイリスクな層に焦点をあてて予防啓発を進めるためには、まず、彼らの動向を明らかにする必要があると考えた。

また新たな知識となるTreatment as PreventionやPrEPの知識について以下の項目も追加し、HIV/AIDSに関する知識や意識の状況を把握することにした。

- あなたは、抗HIV薬(ウイルスの増殖を抑える薬)の服薬治療により、体内のウイルス量が検出限界未満となり、それを維持することで、HIVを他者に感染させる可能性がほとんどゼロ

に近くなることを知っていますか？

- 「HIV感染予防のためのセックス前の服薬(PrEP, プレップ)」や「HIVに感染したかもしれないときの予防服薬(PEP, ペップ)」に関する上記のような情報について、知っていましたか？

- あなたの友達や知り合い、セックスの相手で、HIV陰性者(HIVに感染していない人)の中に「HIV感染予防のためのセックス前の服薬(PrEP, プレップ)」をしている人はいると思いますか？

- あなたは、「HIV感染予防のためのセックス前の服薬(PrEP)」を服薬したいと思いますか？

新たな知識については、ゲイコミュニティにおける啓発普及の必要性が指摘されている。日本の現状として、これらの認知が低いことは先行研究で報告されているが、一方コミュニティではPEPやPrEPについてはインターネットの情報を見て問い合わせがあったり、個人輸入等の動きも少ないが存在する。結果的にリスクな行為を望んでいる層がPrEPのことを知れば、余計にアンダーグラウンドに潜っていく可能性も考えられる。またTasPについてはHIVを持っている人に対するスティグマの払拭につながるが、コミュニティに情報を提供するときには、TasPについて気軽に伝えられる環境が整っていることも重要である。本調査では、上記のような意見交換をふまえ、まず初めに、新たな知識や意識がどの程度浸透しているかを把握することを目的とした。

さらに男性同性愛者を中心とする当事者団体(東北：やろっこ、首都圏：NPO法人akta・NPO法人SHIP、東海：ANGEL LIFE NAGOYA、近畿：MASH大阪、中四国：HaaT えひめ/BRIGEプロジェクト、沖縄県：nankr 沖縄)と共同し、当事者参加型で検討を進め、男性同性愛者の社会的文脈に沿った調査項目となるよう検討し作成した。なお、本研究は大阪青山大学倫理審査委員会の承認を得て実施した。

本報告では、介入するよりハイリスクな層を明確にすることを目的に分析した。まず、一番最近のアナルセックスの相手と出会った場所別に予防行動、感染リスクの高い行為についてクロス集計を行った。出会いの場所はゲイバー、ゲイナイト/その他、ハッテン場/乱パ、掲示板/アプリに分類した。さらに仙台・新宿・名古屋・大阪・沖縄に設置され、男性同性間における予防啓発のために活動を展開しているコミュニティセンターの認知別に分析を行った。

いずれの分析でも各地域を総合して分析した。開始年度が異なっているが、対象者を該当

する地域居住者とし重複を除いたため、重複した人が回答している可能性は極めて低いと考え、ゲイコミュニティ全体像の把握に努めた。

### C. 研究結果

#### 実施状況

中四国地域、および横浜、仙台、名古屋、沖縄地域をあわせた総数は、3年間でゲイ向け商業施設 121 店舗の協力を得て、総計 2,460 部の質問紙を配布し、1,666 部回収した（回収率 67.7%）。インターネットを利用した質問紙調査で実施した大阪地域では有効回答数は 142 件であり、沖縄地域では 100 件で、東京地域では 118 件であった。結果を表 2 に示した。分析対象はコミュニティアンケートでは 1,162 人であり、GCQ アンケートでは 328 人であった。

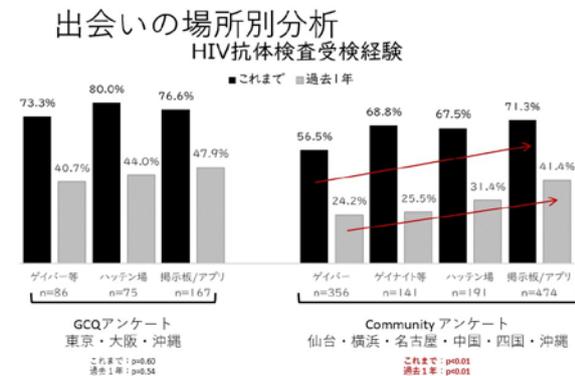
#### 基本属性

年齢層はコミュニティアンケートでは 30 代が最も多く 29.9%であり、年齢階級別に有意差がみられ、ハッテン場では 40 代の割合が多く、掲示板/アプリでは 20 代、30 代の割合が多かった。GCQ アンケートでも回答は 30 代が最も多く 36.6%であり、有意差はみられなかったが掲示板/アプリでは 20 代、30 代の割合が多い傾向であった。

#### 出会いの場所別分析

これまでの HIV 抗体検査受検経験割合はコミュニティアンケートでは 56.5%（ゲイバー）～71.3%（掲示板/アプリ）であり（ $p < 0.01$ ）、GCQ アンケートでは 73.3%（ゲイバー）～80.0%（ハッテン場）であった（ $p = 0.60$ ）。過去 1 年間ではコミュニティアンケートで 24.2%（ゲイバー）～41.4%（掲示板/アプリ）であり、GCQ アンケートでも 40.7%（ゲイバー）～47.9%（掲示板/アプリ）であった。

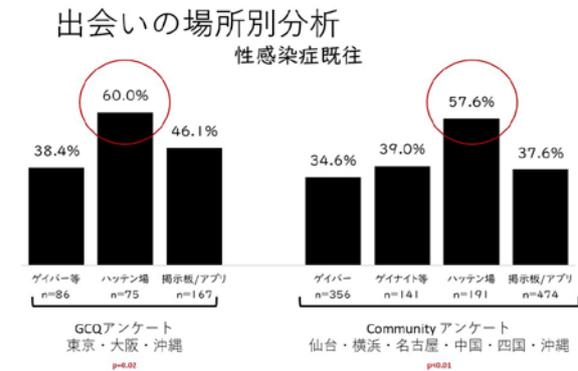
※当地域に居住するMM。これまでにアナルセックスをしたことがある人を対象として分析。



性感染症既往歴は、コミュニティアンケートでは 34.6%（ゲイバー）～57.6%（ハッテン場）

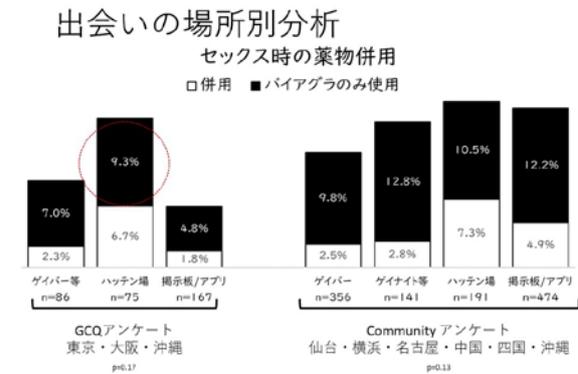
であり（ $p < 0.01$ ）、GCQ アンケートでは 38.4%（ゲイバー）～60.0%（ハッテン場）であった（ $p = 0.02$ ）。

※当地域に居住するMM。これまでにアナルセックスをしたことがある人を対象として分析。

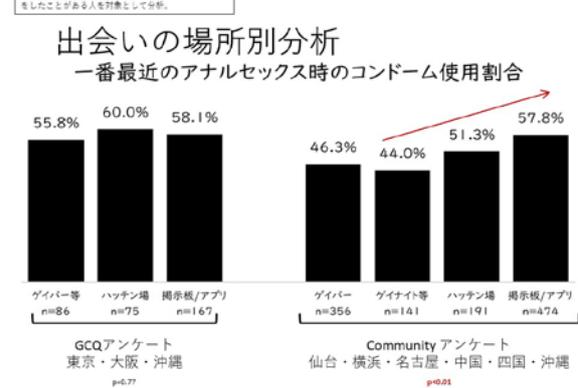


セックス時の薬物併用経験は、ぼっ起薬のみの使用とその他のセックスドラッグも使用している場合にわけて分析した。コミュニティアンケートでは合わせて 12.3%（ゲイバー）～17.8%（ハッテン場）であり（ $p = 0.13$ ）、GCQ アンケートでは 6.6%（掲示板/アプリ）～16.0%（ハッテン場）であった（ $p = 0.17$ ）。

※当地域に居住するMM。これまでにアナルセックスをしたことがある人を対象として分析。



※当地域に居住するMM。これまでにアナルセックスをしたことがある人を対象として分析。



一番最近のアナルセックスにおけるコンドームの使用割合は、コミュニティアンケートでは 44.0%（ゲイナイト）～57.8%（掲示板/アプリ）であり（ $p < 0.01$ ）、GCQ アンケートでは

55.8% (ゲイバー) ~60.0% (ハッテン場) であった ( $p=0.77$ )。

#### コミュニティセンター認知別分析

結果を表7にまとめた。家族との同居割合は認知、非認知別に26.5%、34.0% ( $p=0.02$ )と29.3%、33.3% ( $p=0.50$ ) (以下、コミュニティアンケート結果、GCQアンケート結果の順)であり、セクシュアリティがゲイと回答した割合は認知、非認知別に94.0%、82.8% ( $p<0.01$ )と86.1%、82.5% ( $p=0.69$ )であった。CBOが発行しているコミュニティペーパーの認知割合は認知、非認知別に65.1%、23.1% ( $p<0.01$ )と52.9%、5.8% ( $p<0.01$ )であった。

これまでのHIV抗体検査受検経験割合は、認知、非認知別に73.9%、57.8% ( $p<0.01$ )と82.2%、66.7% ( $p<0.01$ )であった。過去1年間は認知、非認知別に36.6%、28.4% ( $p<0.01$ )と46.6%、42.5% ( $p=0.47$ )であった。

性感染症既往歴は、認知、非認知別に45.2%、35.0% ( $p<0.01$ )と55.3%、33.3% ( $p<0.01$ )であった。HIV感染症は認知、非認知別に4.8%、0.9% ( $p<0.01$ )と10.6%、3.3% ( $p=0.02$ )であり、梅毒は認知、非認知別に13.1%、7.1% ( $p<0.01$ )と19.7%、11.7% ( $p=0.06$ )であった。

セックス時の薬物併用経験は、ぼっ起薬のみの使用とその他のセックスドラッグも使用している場合にわけて分析した。合わせて認知、非認知別に17.9%、13.3% ( $p=0.05$ )と12.5%、4.2% ( $p=0.02$ )であった。

一番最近のアナルセックスにおけるコンドームの使用割合は、認知、非認知別に53.8%、49.3% ( $p=0.07$ )と58.2%、57.5% ( $p=0.61$ )であった。

#### D. 考察

ゲイ向け商業施設の利用者を対象とした質問紙調査とインターネットを活用した質問紙調査の結果であり、単純に比較する場合には注意が必要である。

また本報告では調査データを総合して分析を行ったが実施時期が異なるため重複回答が含まれる可能性がある。ただ分析対象については居住地を該当地域に限定したためその可能性は低いと考えられる。

基本属性を比べると、コミュニティアンケートでは年齢層がやや高い傾向がある。しかし同居割合や外国籍MSMの割合、セクシュアリティがゲイである割合等は相似する傾向であった。したがって二つの調査の結果を用いてゲイコミュニティ全体により近い状況を推測するこ

とが可能であると考えられる。

出会いの場所別分析では、ハッテン場利用者において性感染症既往や過去6ヶ月間の薬物併用割合が高く、感染リスクの高い層であることが示唆された。一方で予防行動についてはHIV抗体検査受検行動について、出会いの場所別に有意差がみられ、インターネット利用者が受検割合が高い傾向であった。コンドーム使用割合は著変なく、ゲイ向け商業施設利用者の中では横這いとなっている。

またコミュニティセンター認知別には、HIV抗体検査受検経験、性感染症既往歴、セックス時の薬物併用割合など有意差がみられ、認知群で高い割合であった。一方でコンドーム使用割合には有意差がみられず、コミュニティセンターにおける予防活動に一定の効果があると考えられるが、より広い層に予防啓発活動を浸透させていく必要があると考えられる。

#### E. 結論

本研究の目的となる「よりハイリスクなMSM層」についてCBOと協働して整理し、その実態を把握するため調査を実施し、分析結果を検討した。限界はあるものの、現時点でより感染リスクの高い層は、ゲイ向け商業施設を利用している、あるいはゲイコミュニティとの親和性が高い層で、かつ従来の予防介入が届いていない層である可能性が示唆された。

#### F. 研究発表

##### 1. 論文発表

- 1) ○塩野徳史, 市川誠一, 金子典代, 佐々木由理: 都市部保健所におけるHIV抗体検査受検者の特性. 厚生学の指標, 2018, 65(5) 35-42.
- 2) ○金子典代, 塩野徳史, 本間隆之, 岩橋恒太, 健山正男, 市川誠一: 地方都市在住のMSM (Men who have sex with men) における調査時点までと過去1年のHIV検査経験と関連要因. 日本エイズ学会誌, 2019, 21(1): 34-44, 2019.

##### 2. 学会発表

- 1) 塩野徳史: HIV Futures Japan プロジェクトの調査結果から～老後・災害に焦点をあてて～. 長期療養時代の医療・行政・コミュニティの協働態勢の構築. 共催シンポジウム1, 第33回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本, 2019.

- 2) ○金子典代、太田 貴、荒木 順、岩橋恒太、石田敏彦、宮田りりい、塩野徳史、玉城祐貴：コミュニティセンター来場者におけるセンターでの情報入手や相談経験、HIV 検査行動、新しい知識の浸透. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2019.
- 3) 宮田りりい、塩野徳史、金子典代：MSM (Men who have sex with men) に包摂される女装者たちの性行動や HIV 感染症に対する意識. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2019.
- 4) Michiko Takaku, Myagmardorj Dorjgotov, Erdenetuya Gombo, Nyampurev Galsanjamts, Davaalkham Jagdagsuren, Seiichi Ichikawa, Satoshi Shiono, Noriyo Kaneko, Shinichi Oka : Studies evaluating NGOs' HIV prevention interventions targeting MSM community in Mongolia: Results of the internet surveys in FY 2013, 2014, 2017 and 2018. The 33<sup>rd</sup> Annual Meeting of the Japanese Society for AIDS Research, Kumamoto, 2019.
- 5) ○塩野徳史：MSM におけるセクシュアルヘルス (HIV 検査行動、新しい知識) に関する現状. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2019.
- 6) 戸ヶ里泰典、井上洋士、高久陽介、大島 岳、阿部桜子、細川陸也、塩野徳史、米倉佑貴、片倉直子、山内麻江、河合 薫、若林チヒロ、大木幸子：日本人 HIV 陽性者におけるストレス関連成長の実態とその特徴. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2019.
- 7) 宮階真紀、塩野徳史、要友紀子、宮田りりい、松下修三：セックスワーカーにおけるセクシュアルヘルスに関する現状. 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本、2019.
- 8) ○和田秀穂、塩野徳史、徳永博俊、竹内麻子、健山正男、市川誠一、金子典代：中国四国地方におけるより感染リスクの高い MSM 層の実態把握と HIV 抗体検査受検経験に関するコミュニティアンケート調査, 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2018.
- 9) Takaku M, Dorjgotov M, Gombo E, Galsanjamts N, Jagdagsuren D, Ichikawa S, Shiono S, Kaneko N, Oka S: Studies on NGOs' HIV prevention interventions targeting MSM community in Mongolia 2017: The 32nd Annual Meeting of the Japanese Society for AIDS Research, Osaka, 2018.
- 10) ○塩野徳史：社会分野における予防指針の課題. 日本エイズ学会シンポジウム, 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2018.
- 11) 細川陸也、井上洋士、戸ヶ里泰典、高久陽介、若林チヒロ、阿部桜子、塩野徳史、米倉佑貴、片倉直子、山内麻江、大島岳、大木幸子：HIV 陽性者のかかりつけ医への通院状況. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2018.
- 12) 井上洋士、戸ヶ里泰典、塩野徳史ら：HIV 陽性者での Treatment as Prevention (TasP) の認知状況と性生活・メンタルヘルスとの関連. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2018.
- 13) 戸ヶ里泰典、井上洋士、高久陽介、米倉佑貴、大島岳、阿部桜子、塩野徳史、細川陸也、山内麻江、片倉直子、河合薫、若林チヒロ、大木幸子：HIV 陽性者における依存性薬物使用の変化とストレス関連成長・ストレス対処力との関連3 年間の縦断データ分析より. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2018.
- 14) 大島岳、井上洋士、戸ヶ里泰典、高久陽介、米倉佑貴、阿部桜子、塩野徳史、細川陸也、山内麻江、片倉直子、河合 薫、若林チヒロ、大木幸子、渡邊淳子、梅沢寛子：板垣貴志：差別偏見を感じている HIV 陽性者当事者の対処戦略に関する自由記載のテキストマイニング分析. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2018.
- 15) 細川陸也、井上洋士、戸ヶ里泰典、高久陽介、若林チヒロ、阿部桜子、塩野徳史、米倉佑貴、片倉直子、山内麻江、大島 岳、大木幸子：HIV 陽性者の子どもを持つことの現状. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2018.
- 16) 阿部桜子、井上洋士、戸ヶ里泰典、高久陽介、若林チヒロ、細川陸也、塩野徳史、片倉直子、山内麻江、大島 岳、大木幸子、米倉佑貴、河合薫、渡邊淳子、梅沢寛子：HIV に関連したスティグマと感染後年数との関連の検討. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2018.
- 17) 塩野徳史：U=U をめぐるメッセージと予防啓発. 日本エイズ学会シンポジウムシンポジウム 9. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2018.
- 18) 塩野徳史 ゲイコミュニティにおける HIV 抗体検査ー『これまで』と『これから』シンポジウム 3 HIV 将来予測と流行阻止 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京、2017.
- 19) 塩野徳史 HIV 検査の受検阻害要因とし

- てのスティグマ シンポジウム4 スティグマの払拭は誰が担うのか 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, 2017.
- 20) 塩野徳史, 後藤大輔, 町 登志雄, 宮田りりい, 大畑泰次郎, 伴仲昭彦, 鬼塚哲郎, 市川誠一 商業施設を利用しはじめる若年層 MSM を対象とした予防啓発介入の開発と効果評価 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, 2017.
- 21) ○荒木順子, 金子典代, 木南拓也, 岩橋恒太, 佐久間久弘, 阿部甚兵, 大島 岳, 太田 貴, 石田敏彦, 塩野徳史, 新山 賢, 金城 健, 本間隆之, 市川誠一 akta で展開したセーフターセックスキャンペーンとコミュニティベースド調査による効果評価 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, 2017.
- 22) 宮田りりい, 塩野徳史, 後藤大輔, 町 登志雄, 大畑泰次郎, 市川誠一 MSM における性交相手との出会いの場所と方法一年齢層による差異について 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, 2017.
- 23) 塩野徳史, 後藤大輔, 町 登志雄, 宮田りりい MSM における検査行動に関する尺度開発とコミュニティセンターdista 利用者の変化 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, 2017.
- 24) 後藤大輔, 中村理恵, 宮田りりい, 塩野徳史 若年層向けの行政と連携した予防啓発方法の試み 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, 2017.
- 25) 川畑拓也, 小島洋子, 森 治代, 駒野 淳, 岩佐 厚, 亀岡 博, 菅野展史, 近藤雅彦, 杉本賢治, 高田昌彦, 田端運久, 中村幸生, 古林敬一, 清田敦彦, 伏谷加奈子, 塩野徳史, 後藤大輔, 町 登志雄, 柴田敏之, 木下 優 大阪府における MSM 向け HIV/STI 検査相談事業・平成 28 年度実績報告 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, 2017.
- 26) Takaku Michiko, Dorjgotov Myagmardorj, Gombo Erdenetuya, Galsanjamts Nyampurev, Jagdagsuren Davaalkham, Ichikawa Seiichi, Shiono Satoshi, Kaneko Noriyo, Oka Shinichi Studies on NGOs' HIV prevention interventions targeting MSM community in Mongolia The 31st Annual Meeting of the Japanese Society for AIDS Research, Tokyo, 2017.
- 27) 櫻井理恵, 真木景子, 浦林純江, 青木理恵, 浅井千絵, 松本健二, 小向 潤, 植田英也, 半羽宏之, 松村直樹, 久保徹朗, 安井

典子, 塩野徳史, 市川誠一 保健福祉センターにおける HIV 抗原抗体検査受検者アンケートから見た MSM 対策の評価 ワークショップ 3 検査・相談体制 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会 東京, 2017.

#### G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得  
なし。
2. 実用新案登録  
なし。
3. その他  
なし。

表3-1 コミュニティアンケート 出会いの場所別 基本属性および性行動

	最近のアナルセックス相手と、どこで知り合いましたか？								合計 n=1162	Pearson カイ 2 乗	
	ゲイバー n=356	ゲイナイト/その他 n=141	ハッテン場/乱パ n=191	掲示板/アプリ n=474							
<b>年齢階級</b>											
29歳以下	52	14.6%	27	19.1%	24	12.6%	151	31.9%	254	21.9%	<b>&lt;0.01</b>
30-39歳	82	23.0%	48	34.0%	53	27.7%	165	34.8%	348	29.9%	
40-49歳	107	30.1%	46	32.6%	73	38.2%	119	25.1%	345	29.7%	
50歳以上	115	32.3%	20	14.2%	41	21.5%	39	8.2%	215	18.5%	
<b>居住期間</b>											
5年未満	42	11.8%	23	16.3%	23	12.0%	101	21.3%	189	16.3%	<b>&lt;0.01</b>
5年以上10年未満	35	9.8%	21	14.9%	20	10.5%	49	10.3%	125	10.8%	
10年以上	279	78.4%	97	68.8%	148	77.5%	324	68.4%	848	73.0%	
<b>あなたの出身国はどこですか？</b>											
日本	354	99.4%	139	98.6%	189	99.0%	469	98.9%	1151	99.1%	0.88
海外	2	0.6%	2	1.4%	2	1.0%	4	0.8%	10	0.9%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	1	0.1%	
<b>あなたは現在だれかと一緒に暮らしていますか？</b>											
一人暮らし	179	50.3%	75	53.2%	119	62.3%	268	56.5%	641	55.2%	<b>0.01</b>
家族と同居	107	30.1%	42	29.8%	51	26.7%	151	31.9%	351	30.2%	
家族以外と同居	70	19.7%	24	17.0%	21	11.0%	55	11.6%	170	14.6%	
<b>MSM対象のコミュニティセンターを知っていますか？</b>											
知らない	189	53.1%	77	54.6%	85	44.5%	229	48.3%	580	49.9%	0.14
知っている	167	46.9%	64	45.4%	106	55.5%	245	51.7%	582	50.1%	
<b>CBOが発行するコミュニティペーパーを知っていますか？</b>											
知らない	191	53.7%	75	53.2%	106	55.5%	249	52.5%	621	53.4%	0.19
知っている	156	43.8%	58	41.1%	82	42.9%	217	45.8%	513	44.1%	
無回答	9	2.5%	8	5.7%	3	1.6%	8	1.7%	28	2.4%	
<b>CBOが Condom やローションを配布していることを知っていますか？</b>											
知らない	110	30.9%	65	46.1%	63	33.0%	135	28.5%	373	32.1%	<b>0.01</b>
知っている	244	68.5%	76	53.9%	127	66.5%	338	71.3%	785	67.6%	
無回答	2	0.6%	0	0.0%	1	0.5%	1	0.2%	4	0.3%	
<b>抗HIV薬の服薬治療により、体内のウイルス量が検出限界未満となり、それを維持することで、HIVを他者に感染させる可能性がほとんどゼロに近くなることを知っていますか？</b>											
知っている	157	44.1%	71	50.4%	95	49.7%	272	57.4%	595	51.2%	<b>0.01</b>
知らない	194	54.5%	66	46.8%	92	48.2%	197	41.6%	549	47.2%	
無回答	5	1.4%	4	2.8%	4	2.1%	5	1.1%	18	1.5%	
<b>過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験</b>											
いずれもなし(無回答含む)	312	87.6%	119	84.4%	157	82.2%	393	82.9%	981	84.4%	0.13
バイアグラのみ使用	35	9.8%	18	12.8%	20	10.5%	58	12.2%	131	11.3%	
併用	9	2.5%	4	2.8%	14	7.3%	23	4.9%	50	4.3%	
<b>あなたはこれまでにコンドームを使わずに男性とアナルセックスをしたことがありますか？</b>											
ある	278	78.1%	112	79.4%	163	85.3%	395	83.3%	948	81.6%	0.27
ない	77	21.6%	29	20.6%	28	14.7%	77	16.2%	211	18.2%	
無回答	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.4%	3	0.3%	
<b>過去6ヶ月間に、相手からお金をもらって、セックスをしたことがありますか？</b>											
ある	17	4.8%	12	8.5%	8	4.2%	21	4.4%	58	5.0%	0.15
ない	339	95.2%	129	91.5%	182	95.3%	453	95.6%	1103	94.9%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	1	0.1%	
<b>過去6ヶ月間に、相手にお金を払って、セックスをしたことがありますか？</b>											
ある	16	4.5%	17	12.1%	15	7.9%	22	4.6%	70	6.0%	<b>&lt;0.01</b>
ない	340	95.5%	124	87.9%	176	92.1%	452	95.4%	1092	94.0%	
<b>過去6ヶ月間に、コンドームを買ったことがありますか？</b>											
ある	90	25.3%	43	30.5%	68	35.6%	206	43.5%	407	35.0%	<b>&lt;0.01</b>
ない	261	73.3%	96	68.1%	122	63.9%	263	55.5%	742	63.9%	
無回答	5	1.4%	2	1.4%	1	0.5%	5	1.1%	13	1.1%	
<b>過去6ヶ月間に、コンドームをすぐに使えるようにいつも身近に持っていましたか？</b>											
いつも持っていた	86	24.2%	29	20.6%	64	33.5%	159	33.5%	338	29.1%	<b>&lt;0.01</b>
時々持っていた	103	28.9%	49	34.8%	72	37.7%	159	33.5%	383	33.0%	
持っていなかった	162	45.5%	61	43.3%	54	28.3%	150	31.6%	427	36.7%	
無回答	5	1.4%	2	1.4%	1	0.5%	6	1.3%	14	1.2%	

表 3-2 コミュニティアンケート 出会いの場所別 施設利用および検査行動

	最近のアナルセックス相手と、どこで知り合いましたか？								合計 n=1162	Pearson カイ 2 乗	
	ゲイバー n=356	ゲイナイト/その他 n=141	ハッテン場/乱パ n=191	掲示板/アプリ n=474							
一番最近にアナルセックスをしたときに、コンドームを使いましたか？											
使った	165	46.3%	62	44.0%	98	51.3%	274	57.8%	599	51.5%	<0.01
使わなかった	172	48.3%	56	39.7%	76	39.8%	172	36.3%	476	41.0%	
覚えていない	18	5.1%	22	15.6%	15	7.9%	27	5.7%	82	7.1%	
無回答	1	0.3%	1	0.7%	2	1.0%	1	0.2%	5	0.4%	
あなたはこれまでに性感染症にかかったことがありますか？											
ある	123	34.6%	55	39.0%	110	57.6%	178	37.6%	466	40.1%	<0.01
ない	229	64.3%	84	59.6%	80	41.9%	291	61.4%	684	58.9%	
無回答	4	1.1%	2	1.4%	1	0.5%	5	1.1%	12	1.0%	
過去6ヶ月間にあなたが利用したことがあるのはどれですか？											
ゲイバー	354	99.4%	138	97.9%	183	95.8%	472	99.6%	1147	98.7%	<0.01
ゲイナイト	66	18.5%	31	22.0%	43	22.5%	151	31.9%	291	25.0%	<0.01
ゲイショップ	83	23.3%	40	28.4%	57	29.8%	121	25.5%	301	25.9%	0.35
いずれかあり	163	45.8%	73	51.8%	123	64.4%	389	82.1%	748	64.4%	<0.01
有料ハッテン場	85	23.9%	33	23.4%	129	67.5%	155	32.7%	402	34.6%	<0.01
野外ハッテン場	32	9.0%	11	7.8%	34	17.8%	37	7.8%	114	9.8%	<0.01
SNSや掲示板、アプリに、自分の顔や身体の画像を投稿したことがありますか？											
過去6ヶ月間に投稿したことがある	135	37.9%	66	46.8%	91	47.6%	324	68.4%	616	53.0%	<0.01
これまでに投稿したことがある	39	11.0%	17	12.1%	27	14.1%	72	15.2%	155	13.3%	
全くない	55	15.4%	28	19.9%	27	14.1%	45	9.5%	155	13.3%	
非該当	126	35.4%	30	21.3%	46	24.1%	32	6.8%	234	20.1%	
無回答	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	2	0.2%	
SNSや掲示板に、裏アカウント持っていますか？											
持っている	44	12.4%	25	17.7%	43	22.5%	122	25.7%	234	20.1%	<0.01
持っていない	151	42.4%	73	51.8%	92	48.2%	284	59.9%	600	51.6%	
裏アカウントがわからない	31	8.7%	12	8.5%	10	5.2%	34	7.2%	87	7.5%	
非該当	126	35.4%	30	21.3%	46	24.1%	32	6.8%	234	20.1%	
無回答	4	1.1%	1	0.7%	0	0.0%	2	0.4%	7	0.6%	
SNSや掲示板でであった相手とセックスしたことがありますか？											
過去6ヶ月間にセックスしたことがある	69	19.4%	28	19.9%	66	34.6%	283	59.7%	446	38.4%	<0.01
これまでにセックスしたことがある	69	19.4%	39	27.7%	43	22.5%	101	21.3%	252	21.7%	
全くない	88	24.7%	42	29.8%	35	18.3%	56	11.8%	221	19.0%	
非該当	126	35.4%	30	21.3%	46	24.1%	32	6.8%	234	20.1%	
無回答	4	1.1%	2	1.4%	1	0.5%	2	0.4%	9	0.8%	
これまでにHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか？											
ある	201	56.5%	97	68.8%	129	67.5%	338	71.3%	765	65.8%	<0.01
ない	151	42.4%	43	30.5%	62	32.5%	134	28.3%	390	33.6%	
無回答	4	1.1%	1	0.7%	0	0.0%	2	0.4%	7	0.6%	
過去1年間にHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか？											
ある	86	24.2%	36	25.5%	60	31.4%	196	41.4%	378	32.5%	<0.01
ない	105	29.5%	53	37.6%	66	34.6%	128	27.0%	352	30.3%	
1年以上前に陽性と確認している	4	1.1%	2	1.4%	1	0.5%	9	1.9%	16	1.4%	
答えたくない	3	0.8%	2	1.4%	1	0.5%	3	0.6%	9	0.8%	
非該当	155	43.5%	44	31.2%	62	32.5%	136	28.7%	397	34.2%	
無回答	3	0.8%	4	2.8%	1	0.5%	2	0.4%	10	0.9%	
あなたは、友達や知り合いにHIVに感染している人はいると感じますか？											
いる	113	31.7%	41	29.1%	63	33.0%	152	32.1%	369	31.8%	0.43
いると思う	87	24.4%	36	25.5%	67	35.1%	124	26.2%	314	27.0%	
いないと思う	46	12.9%	16	11.3%	19	9.9%	65	13.7%	146	12.6%	
いない	19	5.3%	9	6.4%	7	3.7%	17	3.6%	52	4.5%	
わからない	87	24.4%	37	26.2%	34	17.8%	113	23.8%	271	23.3%	
無回答	4	1.1%	2	1.4%	1	0.5%	3	0.6%	10	0.9%	

表 3-3 コミュニティアンケート 出会いの場所別 対話経験および PrEP

	最近のアナルセックス相手と、どこで知り合いましたか？								合計 n=1162	Pearson カイ 2 乗	
	ゲイバー n=356		ゲイナイト/その他 n=141		ハッテン場/乱パ n=191		掲示板/アプリ n=474				
過去6ヶ月間に彼氏や恋人などとHIVやエイズについて話したことがありますか？											
ある	84	23.6%	34	24.1%	45	23.6%	126	26.6%	289	24.9%	0.08
ない	204	57.3%	80	56.7%	97	50.8%	228	48.1%	609	52.4%	
彼氏や恋人はいなかった	63	17.7%	25	17.7%	49	25.7%	117	24.7%	254	21.9%	
無回答	5	1.4%	2	1.4%	0	0.0%	3	0.6%	10	0.9%	
過去6ヶ月間に友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがありますか？											
ある	119	33.4%	53	37.6%	73	38.2%	211	44.5%	456	39.2%	0.16
ない	223	62.6%	84	59.6%	112	58.6%	247	52.1%	666	57.3%	
友達はいなかった	9	2.5%	2	1.4%	4	2.1%	13	2.7%	28	2.4%	
無回答	5	1.4%	2	1.4%	2	1.0%	3	0.6%	12	1.0%	
過去6ヶ月間にゲイバーでお店の人やお客さんとHIVやエイズについて話したことがありますか？											
ある	140	39.3%	39	27.7%	73	38.2%	182	38.4%	434	37.3%	0.08
ない	211	59.3%	99	70.2%	118	61.8%	289	61.0%	717	61.7%	
無回答	5	1.4%	3	2.1%	0	0.0%	3	0.6%	11	0.9%	
過去6ヶ月間に、親や兄弟姉妹などの家族とHIVやエイズについて話したことがありますか？											
ある	13	3.7%	8	5.7%	10	5.2%	25	5.3%	56	4.8%	0.72
ない	315	88.5%	125	88.7%	167	87.4%	411	86.7%	1018	87.6%	
家族はいない	24	6.7%	6	4.3%	14	7.3%	35	7.4%	79	6.8%	
無回答	4	1.1%	2	1.4%	0	0.0%	3	0.6%	9	0.8%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬 (PrEP)」や「HIVに感染したかもしれないときの予防服薬 (PEP)」に関する上記のような情報について、知っていましたか？											
とてもよく知っている	20	5.6%	14	9.9%	16	8.4%	39	8.2%	89	7.7%	0.42
具体的には知らないが、聞いたことはある	113	31.7%	46	32.6%	74	38.7%	173	36.5%	406	34.9%	
まったく知らなかった	218	61.2%	79	56.0%	100	52.4%	255	53.8%	652	56.1%	
無回答	5	1.4%	2	1.4%	1	0.5%	7	1.5%	15	1.3%	
友達や知り合い、セックスの相手で、HIV陰性者の中に「HIV感染予防のためのセックス前の服薬 (PrEP)」をしている人はいると思いますか？											
いる	19	5.3%	8	5.7%	7	3.7%	25	5.3%	59	5.1%	0.74
いると思う	66	18.5%	27	19.1%	46	24.1%	79	16.7%	218	18.8%	
いないと思う	83	23.3%	33	23.4%	46	24.1%	119	25.1%	281	24.2%	
いない	15	4.2%	6	4.3%	14	7.3%	21	4.4%	56	4.8%	
わからない	167	46.9%	65	46.1%	77	40.3%	224	47.3%	533	45.9%	
無回答	6	1.7%	2	1.4%	1	0.5%	6	1.3%	15	1.3%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬 (PrEP)」を服薬したいと思いますか？											
服薬したい	98	27.5%	28	19.9%	53	27.7%	132	27.8%	311	26.8%	0.02
どちらかといえば、服薬したい	113	31.7%	52	36.9%	63	33.0%	197	41.6%	425	36.6%	
どちらかといえば、服薬したくない	74	20.8%	36	25.5%	36	18.8%	82	17.3%	228	19.6%	
服薬したくない	60	16.9%	21	14.9%	32	16.8%	44	9.3%	157	13.5%	
現在、治療で抗HIV薬の服薬治療を続けている	2	0.6%	2	1.4%	4	2.1%	9	1.9%	17	1.5%	
無回答	9	2.5%	2	1.4%	3	1.6%	10	2.1%	24	2.1%	

表4 GCQ アンケート 出会いの場所別分析

	最近のアナルセックス相手と、どこで知り合いましたか？						合計 n=328	Pearson カイ2乗
	ゲイバー/ゲイナイト/ その他 n=86		ハッテン場/乱パ n=75		掲示板/アプリ n=167			
年齢階級								
	29歳以下	29 33.7%	21 28.0%	68 40.7%	118 36.0%	0.08		
	30~39歳	29 33.7%	26 34.7%	65 38.9%	120 36.6%			
	40~49歳	24 27.9%	21 28.0%	29 17.4%	74 22.6%			
	50歳以上	4 4.7%	7 9.3%	5 3.0%	16 4.9%			
居住期間								
	5年未満	24 27.9%	19 25.3%	50 29.9%	93 28.4%	0.36		
	5年以上10年未満	9 10.5%	13 17.3%	14 8.4%	36 11.0%			
	10年以上	53 61.6%	43 57.3%	103 61.7%	199 60.7%			
あなたの出身国はどこですか？								
	日本	84 97.7%	72 96.0%	157 94.0%	313 95.4%	0.40		
	海外	2 2.3%	3 4.0%	10 6.0%	15 4.6%			
あなたは現在だれかと一緒に暮らしていますか？								
	一人暮らし	48 55.8%	39 52.0%	80 47.9%	167 50.9%	<b>0.02</b>		
	家族と同居	15 17.4%	25 33.3%	61 36.5%	101 30.8%			
	家族以外と同居	23 26.7%	11 14.7%	26 15.6%	60 18.3%			
あなたは以下のコミュニティセンターを知っていますか？(あてはまるものすべて)								
	いずれか知っている	60 69.8%	53 70.7%	95 56.9%	208 63.4%	<b>0.04</b>		
	いずれも知らない	26 30.2%	22 29.3%	72 43.1%	120 36.6%			
あなたは以下のコミュニティペーパーを知っていますか？(あてはまるものすべて)								
	いずれか知っている	31 36.0%	32 42.7%	53 31.7%	116 35.4%	0.26		
	いずれも知らない	55 64.0%	43 57.3%	114 68.3%	212 64.6%			
HIV感染初期には、風邪の症状とよく似ていますが「発熱が2週間以上続く」「のどの痛みと咳が頻繁に出る」など違う部分もあります。このことを知っていますか？								
	知っている	48 55.8%	59 78.7%	111 66.5%	218 66.5%	<b>0.01</b>		
	知らない	38 44.2%	16 21.3%	56 33.5%	110 33.5%			
抗HIV薬の服薬により体内のウイルス量が検出限界未満となり、それを維持することで、HIVを他者に感染させる可能性がほとんどゼロに近くなることを知っていますか？								
	知っている	49 57.0%	57 76.0%	121 72.5%	227 69.2%	<b>0.01</b>		
	知らない	37 43.0%	18 24.0%	46 27.5%	101 30.8%			
一番最近にアナルセックスした時、コンドームを使いましたか？								
	使った	48 55.8%	45 60.0%	97 58.1%	190 57.9%	0.77		
	使わなかった	30 34.9%	27 36.0%	57 34.1%	114 34.8%			
	覚えていない	8 9.3%	3 4.0%	13 7.8%	24 7.3%			
過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験								
	いずれもなし	78 90.7%	63 84.0%	156 93.4%	297 90.5%	0.17		
	バイアグラのみ使用	6 7.0%	7 9.3%	8 4.8%	21 6.4%			
	併用	2 2.3%	5 6.7%	3 1.8%	10 3.0%			
過去6か月間に、相手からお金をもらって、セックスをしたことがありますか？								
	ある	8 9.3%	0 0.0%	11 6.6%	19 5.8%	<b>0.03</b>		
	ない	78 90.7%	75 100.0%	156 93.4%	309 94.2%			
過去6か月間に、相手にお金を払って、セックスをしたことがありますか？								
	ある	6 7.0%	1 1.3%	10 6.0%	17 5.2%	0.22		
	ない	80 93.0%	74 98.7%	157 94.0%	311 94.8%			
これまでにHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？								
	ある	63 73.3%	60 80.0%	128 76.6%	251 76.5%	0.60		
	ない	23 26.7%	15 20.0%	39 23.4%	77 23.5%			
過去1年間にHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことはありますか？								
	ある	35 40.7%	33 44.0%	80 47.9%	148 45.1%	0.54		
	ない	51 59.3%	42 56.0%	87 52.1%	180 54.9%			
これまでにかかったことのある性感染症はどれですか？								
	いずれかあり	33 38.4%	45 60.0%	77 46.1%	155 47.3%	<b>0.02</b>		
	いずれもない	53 61.6%	30 40.0%	90 53.9%	173 52.7%			

表5-1 コミュニティアンケート コミュニティセンター認知別 基本属性および性行動

	コミュニティセンター認知				合計		Pearson カイ2乗
	いずれかあり n=582		知らない n=580		n=1162		
<b>年齢階級</b>							
29歳以下	113	19.4%	141	24.3%	254	21.9%	<b>&lt;0.01</b>
30-39歳	190	32.6%	158	27.2%	348	29.9%	
40-49歳	202	34.7%	143	24.7%	345	29.7%	
50歳以上	77	13.2%	138	23.8%	215	18.5%	
<b>居住期間</b>							
5年未満	92	15.8%	97	16.7%	189	16.3%	0.57
5年以上10年未満	68	11.7%	57	9.8%	125	10.8%	
10年以上	422	72.5%	426	73.4%	848	73.0%	
<b>あなたの出身国はどこですか？</b>							
日本	576	99.0%	575	99.1%	1151	99.1%	0.61
海外	5	0.9%	5	0.9%	10	0.9%	
無回答	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%	
<b>あなたは現在だれかと一緒に暮らしていますか？</b>							
一人暮らし	341	58.6%	300	51.7%	641	55.2%	<b>0.02</b>
家族と同居	154	26.5%	197	34.0%	351	30.2%	
家族以外と同居	87	14.9%	83	14.3%	170	14.6%	
<b>CBOが発行するコミュニティペーパーを知っていますか？</b>							
知らない	185	31.8%	436	75.2%	621	53.4%	<b>&lt;0.01</b>
知っている	379	65.1%	134	23.1%	513	44.1%	
無回答	18	3.1%	10	1.7%	28	2.4%	
<b>CBOが Condom やローションを配布していることを知っていますか？</b>							
知らない	104	17.9%	269	46.4%	373	32.1%	<b>&lt;0.01</b>
知っている	478	82.1%	307	52.9%	785	67.6%	
無回答	0	0.0%	4	0.7%	4	0.3%	
<b>抗HIV薬の服薬治療により、体内のウイルス量が検出限界未満となり、それを維持することで、HIVを他者に感染させる可能性がほとんどゼロに近くなることを知っていますか？</b>							
知っている	359	61.7%	236	40.7%	595	51.2%	<b>&lt;0.01</b>
知らない	215	36.9%	334	57.6%	549	47.2%	
無回答	8	1.4%	10	1.7%	18	1.5%	
<b>過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験</b>							
いずれもなし(無回答含む)	478	82.1%	503	86.7%	981	84.4%	0.05
バイアグラのみ使用	72	12.4%	59	10.2%	131	11.3%	
併用	32	5.5%	18	3.1%	50	4.3%	
<b>あなたはこれまでにコンドームを使わずに男性と Analセックスをしたことがありますか？</b>							
ある	487	83.7%	461	79.5%	948	81.6%	0.17
ない	94	16.2%	117	20.2%	211	18.2%	
無回答	1	0.2%	2	0.3%	3	0.3%	
<b>過去6ヶ月間に、相手からお金をもらって、セックスをしたことがありますか？</b>							
ある	23	4.0%	35	6.0%	58	5.0%	0.16
ない	559	96.0%	544	93.8%	1103	94.9%	
無回答	0	0.0%	1	0.2%	1	0.1%	
<b>過去6ヶ月間に、相手にお金を払って、セックスをしたことがありますか？</b>							
ある	37	6.4%	33	5.7%	70	6.0%	0.63
ない	545	93.6%	547	94.3%	1092	94.0%	
<b>過去6ヶ月間に、コンドームを買ったことがありますか？</b>							
ある	213	36.6%	194	33.4%	407	35.0%	0.50
ない	362	62.2%	380	65.5%	742	63.9%	
無回答	7	1.2%	6	1.0%	13	1.1%	

表5-2 コミュニティアンケート コミュニティセンター認知別 施設利用および検査行動

	コミュニティセンター認知				合計		Pearson カイ2乗
	いずれかあり n=582		知らない n=580		n=1162		
過去6ヶ月間に、コンドームをすぐ使えるよういつも身近に持っていましたか？							
いつも持っていた	173	29.7%	165	28.4%	338	29.1%	<0.01
時々持っていた	217	37.3%	166	28.6%	383	33.0%	
持っていなかった	185	31.8%	242	41.7%	427	36.7%	
無回答	7	1.2%	7	1.2%	14	1.2%	
一番最近にナルセックスをしたときに、コンドームを使いましたか？							
使った	313	53.8%	286	49.3%	599	51.5%	0.07
使わなかった	236	40.5%	240	41.4%	476	41.0%	
覚えていない	32	5.5%	50	8.6%	82	7.1%	
無回答	1	0.2%	4	0.7%	5	0.4%	
あなたはこれまでに性感染症にかかったことがありますか？							
ある	263	45.2%	203	35.0%	466	40.1%	<0.01
ない	314	54.0%	370	63.8%	684	58.9%	
無回答	5	0.9%	7	1.2%	12	1.0%	
過去6ヶ月間にあなたが利用したことがあるのはどれですか？							
ゲイバー	577	99.1%	570	98.3%	1147	98.7%	0.19
ゲイナイト	171	29.4%	120	20.7%	291	25.0%	<0.01
ゲイショップ	175	30.1%	126	21.7%	301	25.9%	<0.01
いずれかあり	397	68.2%	351	60.5%	748	64.4%	0.01
有料ハッテン場	222	38.1%	180	31.0%	402	34.6%	0.01
野外ハッテン場	69	11.9%	45	7.8%	114	9.8%	0.02
SNSや掲示板、アプリに、自分の顔や身体の画像を投稿したことがありますか？							
過去6ヶ月間に投稿したことがある	335	57.6%	281	48.4%	616	53.0%	<0.01
これまでに投稿したことがある	80	13.7%	75	12.9%	155	13.3%	
全くない	72	12.4%	83	14.3%	155	13.3%	
非該当	93	16.0%	141	24.3%	234	20.1%	
無回答	2	0.3%	0	0.0%	2	0.2%	
SNSや掲示板に、裏アカウント持っていますか？							
持っている	132	22.7%	102	17.6%	234	20.1%	<0.01
持っていない	322	55.3%	278	47.9%	600	51.6%	
裏アカウントがわからない	32	5.5%	55	9.5%	87	7.5%	
非該当	93	16.0%	141	24.3%	234	20.1%	
無回答	3	0.5%	4	0.7%	7	0.6%	
SNSや掲示板でであった相手とセックスしたことがありますか？							
過去6ヶ月間にセックスしたことがある	242	41.6%	204	35.2%	446	38.4%	<0.01
これまでにセックスしたことがある	141	24.2%	111	19.1%	252	21.7%	
全くない	101	17.4%	120	20.7%	221	19.0%	
非該当	93	16.0%	141	24.3%	234	20.1%	
無回答	5	0.9%	4	0.7%	9	0.8%	
これまでにHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか？							
ある	430	73.9%	335	57.8%	765	65.8%	<0.01
ない	150	25.8%	240	41.4%	390	33.6%	
無回答	2	0.3%	5	0.9%	7	0.6%	
過去1年間にHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか？							
ある	213	36.6%	165	28.4%	378	32.5%	<0.01
ない	196	33.7%	156	26.9%	352	30.3%	
1年以上前に陽性と確認している	11	1.9%	5	0.9%	16	1.4%	
答えたくない	7	1.2%	2	0.3%	9	0.8%	
非該当	152	26.1%	245	42.2%	397	34.2%	
無回答	3	0.5%	7	1.2%	10	0.9%	

表5-3 コミュニティアンケート コミュニティセンター認知別 対話経験およびPrEP

	コミュニティセンター認知				合計		Pearson カイ2乗
	いずれかあり n=582		知らない n=580		n=1162		
あなたは、友達や知り合いにHIVに感染している人はいると思いますか？							
いる	247	42.4%	122	21.0%	369	31.8%	<b>&lt;0.01</b>
いると思う	172	29.6%	142	24.5%	314	27.0%	
いないと思う	54	9.3%	92	15.9%	146	12.6%	
いない	12	2.1%	40	6.9%	52	4.5%	
わからない	94	16.2%	177	30.5%	271	23.3%	
無回答	3	0.5%	7	1.2%	10	0.9%	
過去6ヶ月間に彼氏や恋人などとHIVやエイズについて話したことがありますか？							
ある	174	29.9%	115	19.8%	289	24.9%	<b>&lt;0.01</b>
ない	262	45.0%	347	59.8%	609	52.4%	
彼氏や恋人はいなかった	142	24.4%	112	19.3%	254	21.9%	
無回答	4	0.7%	6	1.0%	10	0.9%	
過去6ヶ月間に友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがありますか？							
ある	267	45.9%	189	32.6%	456	39.2%	<b>&lt;0.01</b>
ない	300	51.5%	366	63.1%	666	57.3%	
友達はいなかった	11	1.9%	17	2.9%	28	2.4%	
無回答	4	0.7%	8	1.4%	12	1.0%	
過去6ヶ月間にゲイバーでお店の人やお客さんとHIVやエイズについて話したことがありますか？							
ある	252	43.3%	182	31.4%	434	37.3%	<b>&lt;0.01</b>
ない	325	55.8%	392	67.6%	717	61.7%	
無回答	5	0.9%	6	1.0%	11	0.9%	
過去6ヶ月間に、親や兄弟姉妹などの家族とHIVやエイズについて話したことがありますか？							
ある	36	6.2%	20	3.4%	56	4.8%	<b>0.02</b>
ない	495	85.1%	523	90.2%	1018	87.6%	
家族はいない	48	8.2%	31	5.3%	79	6.8%	
無回答	3	0.5%	6	1.0%	9	0.8%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬 (PrEP)」や「HIVに感染したかもしれないときの予防服薬 (PEP)」に関する上記のような情報について、知っていましたか？							
とてもよく知っている	60	10.3%	29	5.0%	89	7.7%	<b>&lt;0.01</b>
具体的には知らないが、聞いたことはある	243	41.8%	163	28.1%	406	34.9%	
まったく知らなかった	271	46.6%	381	65.7%	652	56.1%	
無回答	8	1.4%	7	1.2%	15	1.3%	
友達や知り合い、セックスの相手で、HIV陰性者の中にPrEPをしている人はいると思いますか？							
いる	39	6.7%	20	3.4%	59	5.1%	<b>&lt;0.01</b>
いると思う	127	21.8%	91	15.7%	218	18.8%	
いないと思う	143	24.6%	138	23.8%	281	24.2%	
いない	23	4.0%	33	5.7%	56	4.8%	
わからない	242	41.6%	291	50.2%	533	45.9%	
無回答	8	1.4%	7	1.2%	15	1.3%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬 (PrEP)」を服薬したいと思いますか？							
服薬したい	151	25.9%	160	27.6%	311	26.8%	<b>&lt;0.01</b>
どちらかといえば、服薬したい	230	39.5%	195	33.6%	425	36.6%	
どちらかといえば、服薬したくない	115	19.8%	113	19.5%	228	19.6%	
服薬したくない	59	10.1%	98	16.9%	157	13.5%	
現在、治療で抗HIV薬の服薬治療を続けている	16	2.7%	1	0.2%	17	1.5%	
無回答	11	1.9%	13	2.2%	24	2.1%	
そのときの相手と、どこで知り合いましたか？							
ゲイバー	167	28.7%	189	32.6%	356	30.6%	0.14
ゲイナイト/その他	64	11.0%	77	13.3%	141	12.1%	
ハッテン場/乱パ	106	18.2%	85	14.7%	191	16.4%	
掲示板/アプリ	245	42.1%	229	39.5%	474	40.8%	

表 6-1 GCQ アンケート コミュニティセンター認知別 基本属性および対話経験

	コミュニティセンター認知				合計		Pearson カイ 2 乗
	いずれかあり n=208		知らない n=120		n=328		
<b>年齢階級</b>							
29歳以下	69	33.2%	49	40.8%	118	36.0%	0.49
30~39歳	77	37.0%	43	35.8%	120	36.6%	
40~49歳	51	24.5%	23	19.2%	74	22.6%	
50歳以上	11	5.3%	5	4.2%	16	4.9%	
<b>居住期間</b>							
5年未満	60	28.8%	33	27.5%	93	28.4%	0.96
5年以上10年未満	23	11.1%	13	10.8%	36	11.0%	
10年以上	125	60.1%	74	61.7%	199	60.7%	
<b>あなたは現在だれかと一緒に暮らしていますか？</b>							
一人暮らし	111	53.4%	56	46.7%	167	50.9%	0.50
家族と同居	61	29.3%	40	33.3%	101	30.8%	
家族以外と同居	36	17.3%	24	20.0%	60	18.3%	
<b>あなたは以下のどれにあてはまりますか？</b>							
ゲイ(同性愛者)	179	86.1%	99	82.5%	278	84.8%	0.69
バイセクシュアル(両性愛者)	21	10.1%	17	14.2%	38	11.6%	
トランスジェンダー	3	1.4%	1	.8%	4	1.2%	
わからない	1	.5%	1	.8%	2	.6%	
決めたくない	2	1.0%	2	1.7%	4	1.2%	
その他	2	1.0%	0	0.0%	2	.6%	
<b>あなたの出身国はどこですか？</b>							
日本	201	96.6%	112	93.3%	313	95.4%	0.17
海外	7	3.4%	8	6.7%	15	4.6%	
<b>過去6ヶ月間のゲイ向け商業施設利用(バー・クラブ・ショップ・ハッテン場)</b>							
いずれもなし	17	8.2%	23	19.2%	40	12.2%	<b>&lt;0.01</b>
いずれかあり	191	91.8%	97	80.8%	288	87.8%	
<b>過去6ヶ月間のネット利用(スマホアプリ・出会い系・tumblrなど)</b>							
いずれもなし	75	36.1%	46	38.3%	121	36.9%	0.68
いずれかあり	133	63.9%	74	61.7%	207	63.1%	
<b>あなたは以下のコミュニティペーパーを知っていますか？(あてはまるものすべて)</b>							
いずれかあり	110	52.9%	7	5.8%	117	35.7%	<b>&lt;0.01</b>
いずれも知らない	98	47.1%	113	94.2%	211	64.3%	
<b>過去6ヶ月間に、親や兄弟姉妹などの家族とHIVやエイズについて話したことがありますか？</b>							
ある	24	11.5%	10	8.3%	34	10.4%	0.27
ない	172	82.7%	98	81.7%	270	82.3%	
家族はいない	12	5.8%	12	10.0%	24	7.3%	
<b>過去6ヶ月間に、彼氏や恋人とHIVやエイズについて話したことがありますか？</b>							
ある	62	29.8%	28	23.3%	90	27.4%	0.31
ない	97	46.6%	66	55.0%	163	49.7%	
恋人はいなかった	49	23.6%	26	21.7%	75	22.9%	
<b>過去6ヶ月間に、友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがありますか？</b>							
ある	102	49.0%	50	41.7%	152	46.3%	0.17
ない	102	49.0%	64	53.3%	166	50.6%	
友達はいなかった	4	1.9%	6	5.0%	10	3.0%	
<b>過去6ヶ月間に、コンドームをすぐ使えるよういつも身近に持っていましたか？</b>							
いつも持っていた	75	36.1%	33	27.5%	108	32.9%	0.28
時々持っていた	56	26.9%	38	31.7%	94	28.7%	
持っていなかった	77	37.0%	49	40.8%	126	38.4%	

表6-2 GCQ アンケート コミュニティセンター認知別 性行動および知識

	コミュニティセンター認知				合計		Pearson カイ2乗
	いずれかあり n=208		知らない n=120		n=328		
過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験							
いずれもなし	182	87.5%	115	95.8%	297	90.5%	<b>0.02</b>
バイアグラのみ使用	16	7.7%	5	4.2%	21	6.4%	
併用	10	4.8%	0	0.0%	10	3.0%	
過去6ヶ月間に、相手からお金をもらって、セックスをしたことがありますか？							
ある	12	5.8%	7	5.8%	19	5.8%	0.98
ない	196	94.2%	113	94.2%	309	94.2%	
過去6ヶ月間に、相手にお金を払って、セックスをしたことがありますか？							
ある	9	4.3%	8	6.7%	17	5.2%	0.36
ない	199	95.7%	112	93.3%	311	94.8%	
これまでにHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか？							
ある	171	82.2%	80	66.7%	251	76.5%	<b>&lt;0.01</b>
ない	37	17.8%	40	33.3%	77	23.5%	
過去1年間にHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか？							
ある	97	46.6%	51	42.5%	148	45.1%	0.47
ない	111	53.4%	69	57.5%	180	54.9%	
これまでにかかったことのある性感染症はどれですか？							
いずれかあり	115	55.3%	40	33.3%	155	47.3%	<b>&lt;0.01</b>
いずれもない	93	44.7%	80	66.7%	173	52.7%	
これまでにかかったことのある性感染症はどれですか？							
HIV感染症	22	10.6%	4	3.3%	26	7.9%	<b>0.02</b>
梅毒	41	19.7%	14	11.7%	55	16.8%	0.06
HIV感染初期には、風邪の症状とよく似ていますが「発熱が2週間以上続く」「のどの痛みと咳が頻繁に出る」など違う部分もあります。このことを知っていますか？							
知っている	147	70.7%	71	59.2%	218	66.5%	<b>0.03</b>
知らない	61	29.3%	49	40.8%	110	33.5%	
抗HIV薬の服薬により体内のウイルス量が検出限界未満となり、それを維持することで、HIVを他者に感染させる可能性がほとんどゼロに近くなることを知っていますか？							
知っている	153	73.6%	74	61.7%	227	69.2%	<b>0.02</b>
知らない	55	26.4%	46	38.3%	101	30.8%	
一番最近にアナルセックスした時、コンドームを使いましたか？							
使った	121	58.2%	69	57.5%	190	57.9%	0.61
使わなかった	74	35.6%	40	33.3%	114	34.8%	
覚えていない	13	6.3%	11	9.2%	24	7.3%	

表7 コミュニティセンター認知別 分析まとめ

該当地域に居住するMSM、これまでにアナルセックスをしたことがある人を対象として分析。 BAR：ゲイ向け商業施設利用者に絞って分析。N=1162 GCQ：N=328		Community Center 認知あり	Community Center 認知なし
仙台 横浜 愛知 中国 四国 沖縄 東京 大阪 沖縄		34.5 ± 8.6(GCQ)-40.6 ± 13.1(BAR) 外国人:3%(GCQ)-1%(BAR) SW: 6%(GCQ)-4%(BAR)	32.8 ± 8.6(GCQ)- 38.7 ± 9.7(BAR) 外国人:7%(GCQ)-1%(BAR) SW: 6%(GCQ)-6%(BAR)
家族と同居割合		29%(GCQ)-27%(BAR)	33%(GCQ)-34%(BAR)
ゲイ割合		86%(GCQ)-94%(BAR)	83%(GCQ)-83%(BAR)
Community paper 認知		53%(GCQ)-65%(BAR)	6%(GCQ)-23%(BAR)
-----			
HIV検査 受検 割合	これまで	82%(GCQ)-74%(BAR)	67%(GCQ)-58%(BAR)
	過去1年	47%(GCQ)-37%(BAR)	43%(GCQ)-28%(BAR)
性感染症既往割合		55%(GCQ)-45%(BAR)	33%(GCQ)-35%(BAR)
	HIV陽性	11%(GCQ)-5%(BAR)	3%(GCQ)-1%(BAR)
	梅毒既往	20%(GCQ)-13%(BAR)	12%(GCQ)-7%(BAR)
薬物併用割合		13%(GCQ)-18%(BAR)	4%(GCQ)-13%(BAR)
Condom使用割合		58%(GCQ)-54%(BAR)	58%(GCQ)-49%(BAR)

よりハイリスクな MSM 層の解明と有効な介入方法の検討  
成人前期（20 歳代）MSM での HIV 予防・認識と性行動に関する面接調査研究

研究分担者：塩野徳史（大阪青山大学健康科学部）

研究協力者：井上洋士（国立がん研究センターがん対策情報センター）、塩野徳史（大阪青山大学健康科学部）、金子典代（名古屋市立大学看護学部）、高橋良介（ANGEL LIFE NAGOYA）、後藤大輔（MASH 大阪 / コミュニティセンターdista）、舩石翔馬（福岡コミュニティセンター Haco）

### A. 研究目的

日本では、20 歳代の MSM が、HIV 予防についてどのように考えており、どのような行動をとっているのかについては、明確な調査がなされていない。

また、セックス相手との出会い方や、性行動の実態についても明確とは言い難い。

そのため、これらの対象について、まずは話を聞き、普段どうしているのかをつぶさに訊ねることで初めて、今後どういった施策や介入などが必要なのか、その一端が明らかになると考えられる。

以上から、本研究では、20 歳代の MSM を対象に調査を実施・分析をすることによって、性行動や出会いの現状について明らかにすることにより、同世代を対象とした HIV 予防あるいは検査の促進の一助とすることを目的とした。

### B. 研究方法

#### 1) 調査方法

調査方法は、FGI（フォーカス・グループ・インタビュー）である。名古屋、福岡、大阪で FGI（フォーカス・グループ・インタビュー）を実施した。

いずれの地域でも、コミュニティセンターの担当者を通じて、調査対象者を募集してもらった。

参加する対象者として、20 歳代の MSM で性に関して他の人の前で話をするのできる人、性交渉経験がこれまでである人というクライテリアを設けた。また 1 か所について、概ね 5～7 人程度の参加者を想定するものとした。

日時や場所については、参加者らが集まりやすいことを前提に設定を依頼した。

FGI 開始時に、文書による IC を実施、同意書への署名で調査参加という形式をとった。

調査方法については、ファシリテーター 1 人が、インタビューガイド（IG）を用意し、それに基づき話題を投げかけ、自由に答えてもらう形をとった。

IG には以下の内容を含めた。

- ・年齢、自己紹介
- ・セックスの相手をどこでどう見つけているか。
- ・やり取りから出会うまでどのようなプロセスを経ているのか。
- ・出会い方が面倒だったり、もっとこんな形で出会えたらいいのに、というようなこと。
- ・セックスのときに自分の健康のことを考えて自分自身で心掛けていること。
- ・セックスのときに、相手に気を付けてもらいたいこと。
- ・セックスをするときに、これって健康にいいんだろうかと悩んだり考えたりしながらやっていること。
- ・HIV 予防と聞いて、どんなことが思い浮かぶか。
- ・コンドームの使用状況。使わないのはどんなときか。
- ・コンドーム以外で HIV 予防としてやっていること。
- ・HIV 以外の性感染症として何を思い浮かべるか。
- ・HIV 予防の情報をどこから手に入れているか。
- ・それらの情報は役に立っているか。
- ・HIV 予防についてももっとどんな情報が欲しいか。
- ・どこで情報を手に入れるのがよいと思うか。

実施日時とインタビュー所要時間は以下の通り。平均所要時間は105分だった。

- ・名古屋 2019年3月 1時間42分
- ・福岡 2019年6月 1時間53分
- ・大阪 2019年8月 1時間40分

## 2) 分析方法

FGIの内容はICレコーダーにより録音し、トランスクリプトを作成した。そしてトランスクリプトの内容を分析対象とした。

分析については、研究目的(リサーチクエスチョン)に合わせて、それらの指示的箇所を特定し、それらの内容を抽出したうえで、内容を端的に示すラベル付けをし、分類していく方法を採用した。これは、M-GTAの手法の一部に倣ったものである。

## 3) 倫理的配慮

大阪青山大学の研究倫理審査委員会に申請し承認を得た。

研究成果の公表にあたっては、トランスクリプトの一部を引用することとしたが、個人が特定されそうな恐れがある場合には、抽象化したり記号化したりすることで、特定化できないように十二分に配慮した。

## C. 研究結果

### 1) 分析対象者とその年齢(表1)

17人が参加。うち、11人(64.7%)が20歳代前半。1人は10歳代であったが、状況からして年齢以外はクライテリアを満たしていること、またリクルートのプロセスからして参加してもらおうとよいと判断して、特例として調査対象者として加わっている。なお、以下では、それぞれの調査対象者に調査IDとして、アルファベット2文字を当てており、それらを示しながら、分析結果を報告する。

表1 調査対象者

場所・人数	名古屋・6人	福岡・6人	大阪・5人
日程	2019年3月	2019年6月	2019年8月
参加者	NA (22歳)	FA (28歳)	OA (28歳)
総計17人	NB (24歳)	FB (22歳)	OB (24歳)
10歳代 1人	NC (23歳)	FC (24歳)	OC (26歳)
20歳代前半 11人	ND (18歳)	FD (24歳)	OD (22歳)
20歳代後半5人	NE (27歳)	FE (21歳)	OE (23歳)
	NF (27歳)	FF (22歳)	-

## 2) 分析結果

以下、分析結果を示す。うち斜字は、調査対象者の語りを引用したものであり、語りの後のカッコ内には、調査対象者のIDと年齢を示す。

(1) 相手を見つける場として挙げられた場など(表2)

多様な場が挙げられ、セックスの相手を見つける場が多様化していることが見て取れた。

表2 相手を見つける場として挙げられた場など

ネット関連	ネットの他
9 monsters	ハッテン場(有料)
AMBERD	ハッテン場(屋外)
Twitter	公園
Twitter(表アカ)	ナイト
Twitter(裏アカ)	ゲイバー
爆サイ	銭湯
掲示板	映画館
Men's Net	トイレ
Kakao	プール
Cool Boys!	ビデオボックス
k@toom	勉強会
Tumblr	研修会
VERO	サークル
Mixi	
インスタ	

(2) セックス相手を見つける場としてのネットツール

ネットツールについては、どういった相手を探すかによって、使い分けをしていることが述べられていた。1例としては、遊びたい・デートしたい、という場合にはTwitterを利用、セックスしたい、という場合には、出会い系アプリとTwitterを利用しているとしていた。

*会う目的によりますよね。最初普通にご飯とか話したい、遊びたいだけで会うパターンと、最初からもうそういうセックス含めて会いたいと思う方の2択になると思うんですよね。お話しとかしたりとかご飯とかだったらTwitter、セックスだけの目的だったらN(出会い系アプリ)とかTwitter。(FF・22歳)*

出会い系アプリとTwitterの違いとして、Twitterでは履歴から相手の人間性がわかるという点が指摘されていた。

*アプリは人間性が知れないからっていうの*

が大きいし、アプリだと簡単に成り済ませるけど、Twitterだと過去のツイートの履歴が残るからなかなか成り済ましていかも難しいっていうので。会ってみたらつまらない人だったとかいうのが少ないのは圧倒的にTwitterですね。(FA・28歳)

Twitterですよ。N(出会い系アプリ)とかだともうやりたいだけの関係ならすぐ見つかるんですけど、そこからパートナーってなったら、相手もNしてるってことだから、そういう他の人たちと会う機会が多いじゃないですか。Twitterだと、こういう人間なんだっていうのが分かった上で会って、そこから深めていけるというか。(FF・22歳)

リアルで出会うのとネットツールを活用して出会うのは、全く別なものではなく、むしろ、両者をうまく組み合わせ活用しているようであった。1例として、ナイトに出て相手を見て出会い系アプリで確認する→Twitterで履歴を確認してやりとり→実際に個別に会う、というような方法もあると述べられていた。

基本アプリですけど、個人的にナイトによく出るんで。そこ(アプリ内の人)が結構来るんでね、人が。で大阪だけじゃなくて、名古屋とか、東京とか、博多とか行くんで、そのときに、その場では声掛けられるか、掛けられないか、五分五分なんですけど、後でTwitterで連絡来て、よかったらとか。会ったり。それが今多いです、現状は。「ナイトで見ました、かわいかったから」って。(OB・24歳)

語りの中には、こうしたやり取りが次第に面倒になって、出会いのためにN(出会い系アプリ)とかTwitterを使わなくなったというものもあった。

僕は何か面倒くさいなと思っちゃう、さっきの話。俺は何かだからV(アプリ)やらないのかも。何かNとTwitterだけでもうそんな、さっきのメッセージのやりとりじゃないけど。(NB・24歳)

釣り針を多く投げとけば。そこに知らないうちに掛かってればいいやぐらいの。(NF・27歳)

### (3)セックスのときに気を付けていること

HIVや性感染症の予防に関連してどんな方法をとっているのかたずねたところ、様々なものがあげられたが、それらは、個人的な考えや

経験に基づいたものであったり、口コミにより情報入手したりして、予防に効くかどうか判断していることが多いということが示された。以下は、方法として挙げられたものの一部を要約したものである。

- ・カウパー的なものは飲まない
- ・口に精液が入った場合には水を大量に飲んで流しこむ
- ・口内炎のときにはセックスをやめておく
- ・口に精液を含んで、自分がいってからすぐ口から出す
- ・体調が悪い時にはセックスしない
- ・(タチの場合) ゴムが破れたら排尿する
- ・(ウケもタチも) 爪を切る、アナルをよく広げて慣らすことで出血を防ぐ

以下の要約のように、コンドームを使わなければならない、と感じる大きなインパクトのある出来事に出会ったときに、使うようになるという語りもいくつかあった。

- ・性感染症罹患経験からゴムをつけるようになった
- ・昔はゴムをつけていなかったが、セックスの相手がHIV陽性だったことがあり、それからつけるようになった

相手のことがよくわかってきたら、あるいは付き合うことになったら、もしくはセフレになったら、コンドームを使わない「ナマ解禁」にするという発言が比較的多くみられた。以下は、語りの一部を要約したものである。

- ・不潔と感じた相手とはやらない
- ・相手を調べちゃんとその人となりを知ってからやる
- ・ゴムをつけると嫌われると思ったらつけない
- ・セフレに昇格してからいわゆるリスク行為をするようにしたりバニラから卒業したりする
- ・付き合うことになったらナマでいいと判断
- ・ナマでやる相手については限定しておく

一方でコンドームを使わない「ナマ派」の人やHIV陽性者、あるいはその可能性がでてきそうな人を避けるという発言もあった。以下、一部要約である。

- ・ナマ派の人を避ける

・検査に行っていてネガティブということがわかっている人を選ぶ

- ・不特定多数とやっている人を守る
- ・みだりにそういう行為(アナルセックス)をしている人を守る
- ・爪を切っていない人、臭いがする人、不潔な人を守る
- ・アナル舐めは避けてもらう・避ける

#### (4) 情報・スキル

セックス前の準備については、語りの中では多様なものが挙げられたが、これらは、人から教わったり、系統だった情報を入手したわけではなく、概ね、自分自身の経験からこうした準備をするようになっていた。以下、一部要約。

- ・事前にご飯は食べない
- ・セックス前には食べ物に気を付ける(ニンニクなど刺激が強いものを守る)
- ・辛いものを食べない
- ・クーラーをつけない(お腹の調子を考えて)
- ・勃起するように3日前から溜めておく
- ・毛の処理をする
- ・シャワーを浴びる
- ・相手の性器をよくチェックする
- ・数種類の大きさのゴムを準備しておく
- ・自分にあったローションを手に入れておく
- ・シャワ流をする

たとえば、シャワ流については、ネットなどから自分なりに情報を仕入れている場合もあったが、セックスの相手に見せてもらったり、口コミを集めたりして、自分なりに模索している場合も少なくなかった。

自分がそういうホテルとか家とか、タチするときに、相手がシャワ流してたら、一緒にお風呂入っていい? みたいな感じで。恥ずかしいから嫌だって言う人か、あ、いいよって言う人、2択だと思うんですけど。いいよって言うんだったらどういうふうにしようかっていうのを見れば。(FF・22歳)

結構初体験のときじゃないですか。「分からないよって言うたら教えてくれる感じ。相手が。実際に横に立ってとかじゃないんですけど、こうやって、こうやってみたい。 (OB・24歳)  
10代の時わかんなかった。何かどれが正しいんだろうって、いつも思ってた。でもこういう場だと、やっぱり何かある意味先輩みたいな人がいて聞くことはできるから、すごい自分は助

かってるし、友達とかの話聞いてても。(NB・24歳)

また、アナルセックス以外についての情報が欲しいという、以下のような語りもあった。

情報って言ったら、たぶん(精液などを)舐めないのが一番なんですけど、舐めてしまったときの予防とか、そういう、とか、万が一とか、やってるときに破れてしまったときの対処法とか、何ですかね、後からの応急処置とかを、意外と情報ないんで。(FE・21歳) :

#### (4) 性感染症について

概ね、性感染症については、少なくとも名前については、多くのものを網羅的に知っている状況にあった。

ヘルペスとクラミジアと梅毒と肝炎、A・B・Cの肝炎と、あと何かあったかな。(FE・21歳)

B型肝炎。(NA・22歳)

あとC肝もそうだよ。 (NE・27歳)

C肝もそうなの? (NB・24歳)

あとヘルペスとか、何だっけ、コンジローマだっけ。(NE・27歳)

僕は、すいません、梅毒とA型、B型ぐらいですね。(NC・23歳)

淋病。(NF・27歳) :

毛じらみ。(NB・24歳)

ケツなめで、B型肝炎とか。それをN(出会い系アプリ)の広告とかで見て。(OC・26歳)

性感染症を学んだ場所としては、圧倒的に保健体育の授業が挙げられていた。ただし、内容の詳細は忘れ去られている様子であった。今はインターネットなどから情報収集をしていたものの、その情報が信用できるかどうかについては、現時点で20代に入っても保健体育の教科書に戻っている状況がうかがえた。

中学校で一回習って、高校でも復習的な感じで軽く習ってみたい感じだったんで。だいたい説明も軽くあって、表みたいになってて、期末試験の時にその表を埋めて、で、しかもその表を埋めるのが結構配点高かったみたいなやつ、記憶があります。(FE・21歳)  
写真付きでしたよね。写真付きで、説明文が載っててみたいなので、こういうリスクがありますとか。(FD・24歳) :

(今は) たまにネットとかで調べたりとか、保健の教科書引っ張り出して見たりとかもあったんですけど。ほんとにあれ大丈夫かなって急に不安になったり。(FE・21歳)

僕は情報は人から聞くのが一番ですよ。ネットは分からない。(FF・22歳)

ってなってくると、一番信用できるのが保健の教科書なんです。(FE・21歳)

#### (5) コンドーム使用をどこで学んだ？

コンドームを使うことが必要だということは学校で習っていたようだが、他人ごと・現実味のないこととして受け止められていた。その理由として、以下の語りに代表されるように、コンドームの使用の前提として、男女間での話になっていたこと、そして避妊という話であったためでもあるとしていた。

学校とかでも、授業とかでこうしようとかあったんですけど、いまいち自覚してなかったとか、現実味を帯びてなかったとか。(OB・24歳)

他人事。(OC・26歳)

そう、他人事ですね。で、もう、同じく、自分なるわけがないと思ってたんで。検査にも行かなかったんですよ、長いこと。本当人生で2回くらいしか行ってないですけど。でも、自分の中で不安要素が募ってたんで、だいたいは使ってました。20歳、22とか、21くらいからは。10代はあんまり使ってなかったです。(学校の授業は)もう本当、ぼーっと聞いてたんで。今となっては聞いてけばよかったなって思います。(OB・24歳)

学校の授業も、男女の恋愛を前提としてやってるから、余計他人事に。(OC・26歳)

妊娠とかないし。(OE・23歳) :

#### (6) HIV や予防はどこで学んだ？

学校の保健体育の授業、インスタ、保健所、コミュニティセンター、出会い系アプリ、映画などが挙げられていた。

学校の保健とかで習ったりとかは、どういう病気かっていうのは習ったりはしたんですけど、漠然と怖い病気だかっていうだけで、詳しくはどうなんだろうっていうのはちょっとありますね。何だろう、今はどうか分かんないんですけど、かかったら治らないだとか。(ND・18歳)

インスタもそうですね。(OE・23歳)

コミュニティセンター。(OB・24歳)

インスタか、保健所か、それくらい？(OC・26歳) :

いろいろ、(コミュニティセンターには)リーフレットみたいなものが置いてて、自由に見れるようになってて、それ読んだり。(OC・26歳)

あの空間にいただけで、結構入ってきますよね。(OB・24歳)

うん、入ってくる。(OC・26歳)

人から聞いたりとか、学生のときは学校の授業みたいな、ありましたけど。(OE・23歳)

N(出会い系アプリ)の最初の表紙とか。(OA・28歳)

FGIの最初のうちに、自分がHIV陽性であることを打ち明けた調査対象者がいた。この方は、学校でHIVの授業がきちんとなされていたために、後にHIV陽性判明してもあまり慌てなかったと語っていた。ここではIDは示さず、語りの一部を紹介しておく。学校教育を充実させることによる将来的な好影響を示す一例と言える。

うちの場合は中学校で、クラスごとだったんですけど、先生たちが集まって、HIVはこういう病気ですっていうのを2コマ分の授業使ってやりました。そこで、この方はこういうふうにならなくて亡くなられましたとか、いろんな俳優さんとか出されて教わりました。なんで、自分がいざ19歳になってHIVかかった時に、今は死なないんだっていうのをそこでも確認できましたし、また20歳になって成人式で先生と会った時に、自分HIVにかかったんですよって、その時に先生たちから勉強してたのであんまり悩まずに今過ごせてますっていう話をしたりとかしましたね。

(ファシリテーター: その時の先生の対応とか反応っていうのは。)

泣いてましたね。私たちがちゃんと教えてたおかげであんまり深く悩まずに、話してくれるようになったのがすごいうれいって言われて、ちゃんと教えててよかったって言ってましたね。もし教えてなかったら自分だけで悩んだりとか、自殺してたかもしれない状況まで行ってたかもしれないと思ったら不安で仕方がないって話されて。今はもう当たり前ようになってきてるHIVでも、昔の偏見からしたら気持ち悪い存在だったりとか、性感染症の一番死に

やすいとか、そういう偏見があるので、偏見とかをなくすための授業をもっと増やしていけたらなっての思っています。

#### (7) HIV 検査について

以下の要約のような要望等が語られていた。

- ・他の性感染症とまとめてやってもらうのはよい
- ・いろいろ聞かずにシンプルに終えてほしい
- ・利便のよい時間帯に頻繁に検査の機会を創ってほしい
- ・ハッテン場で検査できるようにしたらどうか
- ・1回検査に行ったら定期的に行くようになる
- ・筋トレみたいな感じ。1回行っちゃうと、もう次も行かないと。

#### (8)セックスについて話す機会

日常生活のなかで、セックスについて話す機会はほぼないと各地で話されていた。この調査で初めて知ったことも多いとも言われており、FGI 自体が、セックスについて語り合う実践の場として受け止められていたところもあった。

それほど(セックスについての話は)せんもんな。(OA・28歳)

こういうする場には、多分。(OE・23歳)

かしこまってはしない。(OC・26歳)

かしこまってはしないです。(OB・24歳)

それこそ掲示板とか、アプリとかで会って、これからどうするってなったときはするかもしれないけど、友達とはあんまり(セックスについては)話さない。(OA・28歳)

#### D. 考察

20歳代のセックス相手との出会い方は、多様であるが、その時々のお会い系アプリ等ネットツールやリアルのお場の状況を見つつ、マメな使い分けや組み合わせた使い方をしていた。どのように出会っているのかを常に把握し続けながら、HIV や性感染症の情報支援や介入をしていく効果的な場を求める必要があると考えられる。

15年ほど前の先行研究で、相手との関係性のなかでコンドーム使用有無を決定していく(砂川, 2002)というものがあるが、「いま」の20歳代でも、相手との関係性のなかで、ナ

マでやるかどうかを決める場合が見られることが明らかとなった。これについては、そのような状況に20歳代のMSM層がなっていくメカニズムについて、今後探索していく必要があるだろう。

一方、中学校・高校でのHIVや性感染症の授業で学んだことは、その後20代に至っても記憶に残っており、また教科書はネット情報に比べてより信頼されている状況や、インパクトも大きいことが示された。HIVや性感染症については、MSMを意識した授業展開をしていく必要があること、教科書に入れ込む内容や授業内容を充実させることは、文科省等に働きかけてもいいポイントと考えられる。

シャワ流やセックス前の準備なども含め、20代のセックスについての情報は口コミや各自の経験から模索しているところも大きいことも明らかとなった。さらに、HIVや性感染症に限らず、セックスについての情報提供をしたり、セックスについての意見交換をする場を設けるとよりよいとも思われた。

またHIVやSTI検査機会の充実・拡大は20歳代でも要望されていた。

以上が、今回の3つのFGIを通して明らかとなった点に対する考察となる。

本研究の限界として、名古屋、福岡、大阪という限定された地域での調査であること、性生活についてグループインタビューで話をしてもいいという対象者という偏りがあることがあげられる。今後は、対象者の幅を広げて調査をすること、可能であれば量的調査をすること、地域別や年齢別の分析をして差を解明することなどが今後の課題と言えるだろう。さらに、先行文献をレビューし本調査研究結果と比較検討することも求められる。将来的には20歳代を組み込む形でアクションリサーチあるいはそれに類するものがなされるとよいのではないかと示唆された。

#### E. 結論

20歳代を中心とした17人の参加のもと、3件のフォーカスグループインタビューを、名古屋、福岡、大阪で実施した。その結果、出会い系アプリなどのネットツールでの出会い方や、出会い系アプリなどのネットツールとリアルとの両者を駆使しながら出会っている状況の一端が明らかになった。また、学校教育におけるHIVや性感染症の授業内容が20歳代になってからも重要になりうること、コンドーム使用については現時点ではMSM層ではかえって他人事と感じられる学校教育の場になっている

ことがうかがえた。その一方で、HIVについて学校で明確な情報提供をした場合には、万一その後生徒が HIV 陽性と判明しても、メンタルヘルスの極度な低下を避けられ落ち着ける状況になっている好事例も見受けられた。さらに、HIV 検査への期待や、セックスについて話す場の必要性もうかがわれた。

このように、20 歳代 MSM での性行動や出会いの状況、性感染症や HIV の予防行動について垣間見ることができたが、今後もさらに調査研究を進め、将来的には 20 歳代を組み込む形でアクションリサーチあるいはそれに類するものがなされるとよいのではないかと示唆された。

#### **F. 研究発表**

なし

#### **G. 知的財産権の出願・登録状況**

なし